

昨年度、児童の学力向上を目指し、児童や保護者に向けてのお知らせ等を載せてきた、学力向上通信「学問のすすめ」ですが、今年度は、表題を「TKB通信」として、発信していきたいと思えます。

手子林小学校では、様々な場面で「TKB」を活用していますが、「TKB」には2つの意味があります。1つ目は「T(て) K(こ) B(ばやし)」、2つ目は「T(伝え合う) K(考えを深める) 学び(B)合う」です。

「子供たちが、自分の考えを伝え合い、友達の意見を聞いて考えを深め、お互いに学び合うことを通して学力を高めていく」ことを目標に、日々授業を行っています。

子供たちの学力向上のため、今年度もご協力よろしくお願い致します。

埼玉県学力・学習状況調査について

5月18日(水)に4~6年生が埼玉県学力・学習状況調査が行われましたこの調査では、「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という2つの視点があります。

調査は「ペーパーテスト(国語・算数)」と「アンケート(子供たちへの質問紙調査)」に分かれています。本調査は毎年の調査結果を見比べることによって、1年間の学習の積み重ねが「学力の伸び」として見られます(※「学力の伸び」は本調査の2年目以降に見られます)。

実施後にアンケートを行ったところ、「学力・学習状況調査をどうでしたか」という質問(よくできた、まあまあできた、ふつう、あまりできなかった、できなかった)には、半数以上の児童が「ふつう、あまりできなかった」と答えていました。その理由として、時間が足りなかった、難しかった、忘れていた問題があった等が挙げられました。

国語では文章問題、算数では応用問題が難しかったと答えている児童が多く、「文章を読み取り、正しく答える力(読解力)」を付けることが大切なことを実感していました。本調査では、ただ文章を読み、答えるのではなく、複数の資料を読み比べて答える問題もあり、総合的な読解力が必要になります。

読解力を鍛えるためには、要約の練習や読書が有効だと言われています。今年度から図書室の本が2冊借りられるようになりました。また、全校で「読書DEビンゴ」にも取り組んでいます。3年生以上は題名の他に、感想を書く欄があります。たくさん本を読み、心の栄養にし、読解力を高めていって欲しいと思えます。

埼玉県学力・学習状況調査の結果は、8月以降に届く予定です。



(6年生ビンゴ用紙) 名前 _____

本日のキズナ!
読書DEビンゴ①

- ・真ん中「Free(自由)」のところは、どんな本でも自由です。
- ・マスに書いてある本を探して、読みましょう。
- ・本が読み終わったら、本の題名、読み終わった日にち、感想を書きましょう。
- ・1列(たて・横・ななめ)ぬれたら、ビンゴです。

古典	偉人(いじん)	宮沢賢治 作
月 日	月 日	月 日
まんがひみつシリーズ	FREE	戦争と平和に関する本
月 日	月 日	月 日
2巻の本	「科学のアルバム」シリーズ	9巻の本
月 日	月 日	月 日

-1-